

2014

## 地域課題について具体的に考えてみよう

# Dec.



▲西原昇氏

映画青年だった学生時代、グローバルに対する意識はこれっぽちも持っていませんでした。

そんな私が、世界を見据えるようになったのは、人との出会い、経験、そして感性です。私たちが世界のためにできることはたくさんあります。そして、グローバル感覚で物事にチャレンジすることは、あなたの成長につながります。

あなたの未来への想像力が、少しでも充実するきっかけになれば幸いです。

海外経験豊かな大阪・此花区長より、  
レクチャーして頂きます。お話のポイントは3つです。

### ①私が世界を目指した理由

映画に魅せられ映画の世界へ。  
カンヌ映画祭グランプリ作品に関わって会社の倒産、  
とりあえず映画の聖地ハリウッドへ。

### ②開発途上の国々で感じたこと

ジンバブエでの青年海外協力隊活動。  
人種の違いを感じるのとは私たちが？  
貧困とは、お金とは、しあわせとは？

### ③国際経験を日本で生かす

海外を見据えたテーマパークでの12年。  
生き残りをかけた末端行政の区長として  
次世代の地球人のために伝えたいこと。

## Y-ACT セミナー

# あなたが世界のためにできること

## 講師 西原 昇 氏 (大阪市此花区 区長)

大阪市生まれ。日活撮影所に入社、映画編集助手として映画製作に携わる。「キッチン」「千利休」「ミンボーの女」「大誘拐」「夢二」「さらば、わが愛 霸王別姫」等担当。日活倒産後、ハリウッドにて本場の映画製作を体感した後、青年海外協力隊に参加。アフリカ・ジンバブエにて、映像技術指導、観光開発、女性のジェンダー問題等に取り組む。

帰国後、専門学校教員を経て、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの開業前から12年に渡り、エンターテインメント部のマネージャーを担当した後、2012年8月から此花区の区長に就任。海外生活を含め世界40ヶ国を超える滞在経験、キリマンジャロ山(5895m) 登頂経験、フルマラソン3時間台での完走経験を持つ。映画検定1級、大阪検定2級取得。

キャリア・コンサルタント、ホスピタリティ・コーディネータの資格を持ち、学生支援も行う。また、社会人として龍谷大学、大阪学院大学、大阪国際大学で非常勤講師も担当。大学院では、経済学を専攻し、アフリカの開発経済政策を研究。

チャーリー・チャップリンをこよなく愛し、手塚治虫氏と宮本輝氏を敬愛している。好きな台詞は「人生に必要なもの。それは、勇気と想像力、そしてほんの少しのお金」

日時 2014年 **12月 13日 (土)** 12:50-14:20

会場 山口県立大学 (山口市桜畠3-2-1) D24教室 (Y-ACT室)

定員30名 参加無料・事前申込制 (申込み先着順) **どなたでもお気軽にご参加いただけます。**

申込先 Tel & Fax: 083-928-5410



global@yamaguchi-pu.ac.jp

※本学学生は、[WEBかるちゃー]から申込みできます。

※本レクチャーは、[域学共創Ⅲ]の一環として行われる公開セミナーです。

What is Global?

Here. Around Me!

グローバル人材育成推進事業